

## 令和4年度事業報告

## 1 資料管理

区分	内容等	時期
受入	17件98点（寄贈15件79点、購入2件19点）を受入れ ・歴史9件70点（金指日野屋資料、井伊谷近藤家関係資料等） ・民俗7件20点（三河土人形、7インチテレビ等） ・美術工芸1件8点（ジェームズ・ペイトン号関係資料）	通年
登録	・資料整理（分類・目録作成・撮影等）後、受入簿に資料情報を記入するとともに、デジタル台帳への入力を行った（一部資料は、受入後に資料整理を実施）。	通年
保管	・保管場所をデジタル台帳や配置表などへ記載した（途上）。 ・出納時に記録を残し、原位置へ戻したか複数人で確認するようにした。	通年
活用	・資料の外部貸出については、「浜松市博物館資料の館外貸出しの取扱い」に基づき5件実施した。 ・「浜松市博物館資料の特別利用の取扱い」に基づき、資料の熟覧は25件、画像の提供については、76件実施した。	通年
点検	・本館登録資料の全点確認作業を前年度から継続して行った。 ・文献資料については、一部業務委託により行った。 ※いずれも令和5年度まで継続中	令和4年度 ～令和5年度
除籍	・除籍に関する取扱い基準を検討した。	運用開始は令和5年 4月1日

## 2 調査・研究

項目	時期	概要
家康伝承調査	令和2～ 4年度	公募した市民との協働により令和2年度から継続。家康関連の伝承や由緒を集成・分析し、報告書として小冊子「家康伝承と浜松」を作成した。また、成果報告会の実施や、調査内容を特別展に成果として反映した。
蜷塚遺跡現地及び資料調査	令和3年度 ～	再整備事業に必要な情報の取得を目的として、過去の出土遺物・調査記録・整備活用事業記録の再整理を行った。
伊場遺跡弥生時代資料の調査	令和元年度 ～	今後の保存活用に必要な情報の取得を目的として、過去の出土遺物・調査記録・整備活用事業記録の再整理等を行い、図録「伊場遺跡と弥生時代後期の文化」を刊行した。
市内出土銅鐸の複製品製作	令和4年度	市内出土の銅鐸について複製品を製作し、出土地域における公開活用事業等を行った（県指定文化財の三ヶ日町猪久保出土銅鐸を実施）。

その他資料調査・整理	随時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詳細整理の未実施資料等の調査・整理等を実施した。</li> <li>・大橋幡岩調査プロジェクト（一橋大学他）、根堅遺跡調査団（お茶の水女子大学他）、滝沢鍾乳洞遺跡調査（静岡大学）への協力を行った。</li> </ul>
浜松の機械染色の型紙の調査・整理	平成 29 年度～	静岡文化芸術大学との協働。分館での展示による整理状況等の情報発信も行った。
浜松城跡総合調査	令和 3 年度～	文化財課主管。史料調査等の一部を担った。

### 3 展示

区分	内容等	時期
本館	常設展 旧石器時代から近現代までの市内の歴史を通史展示で紹介。中世の部分を中心に部分的な更新を実施した。 ※観覧者数：63,848 人	通年
	特別展 <b>「三方ヶ原の戦いと家康伝承」</b> ※観覧者数：6,393 人 三方ヶ原の戦いから 450 年を記念して開催。三方ヶ原の戦いとその前後の当地域周辺の政情や、徳川・武田両軍に関する資料を集成するとともに、近世以降形成された三方ヶ原の戦い及び浜松在城期の家康にまつわる伝承資料と、市民協働による取組で実施した伝承調査の成果を紹介した。 <b>【関連事業】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11/12 講演会「徳川家康三方ヶ原戦役画像の謎」 講師：原史彦氏</li> <li>・11/3 ワークショップ「錦絵を組み立ててみよう」</li> </ul>	10月22日～12月4日
	テーマ展 <b>「新指定文化財展」</b> ※観覧者数：5,345 人 令和 3 年度指定の「ジェームズ・ペイトン号遭難事件関係資料（市）」「鰐口（県）」など、近年指定されたものを中心に展示した。 <b>【関連事業】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6/25 講座「ジェームズ・ペイトン号遭難事件の古文書を読む」</li> <li>・7/9 報告会「新たに認定された『浜松地域遺産』」</li> </ul>	6月4日～7月18日
	<b>「史跡蜷塚遺跡の過去・現在・未来」</b> ※観覧者数：7,049 人 蜷塚遺跡保存活用計画策定に関連した展示。蜷塚遺跡の発掘や整備の歴史を振り返り、現状と課題や今後	7月30日～9月25日

	<p>の展望について紹介した。</p> <p><b>【関連事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9/4 講座「史跡蜷塚遺跡の過去・現在・未来」</li> <li>・1/15 ワークショップ「未来の蜷塚遺跡を考える」</li> </ul>	
	<p><b>「家康伝承と浜松」</b></p> <p>※観覧者数：6,272人（令和5年3月31日までの人数）</p> <p>徳川家康にまつわる伝承について、当館所蔵資料や継続借用資料を用いて紹介した（開催中）。</p> <p><b>【関連事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2/4 講座「家康伝承と浜松」</li> <li>・3/19 現地見学会「めぐってみよう！家康の伝承地」</li> </ul>	<p>12月24日 ～令和5年9月24日</p>
	<p><b>「古墳へでかけよう！～浜松の横穴式石室～」</b></p> <p>市内の横穴式石室が残る古墳について、行き方や見どころを紹介し、当館所蔵の出土品や調査成果を展示した</p> <p><b>【関連事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4/9 講座「浜松の横穴式石室を語る」</li> <li>・4/29 調査報告会「石ノ塔古墳・唐沢古墳群」</li> <li>・5/7 現地見学会「天浜線で横穴式石室をめぐる」</li> </ul>	<p>令和4年3月5日 ～5月8日</p>
小展示 など	<p><b>「道具たちの100年」</b></p> <p>小学校3年生社会科「道具とくらしのうつりかわり」に合わせて毎年開催。近世～現代の道具の変遷を紹介した。</p>	<p>11月12日 ～令和5年5月21日</p>
	<p><b>「家康ゆかりの地パネル展～中区編～」</b></p> <p>徳川家康ゆかりの中区の史跡や寺社等を写真と解説で紹介。分館との合同開催（開催中）。</p>	<p>12月24日 ～令和6年1月8日</p>
	<p><b>「はままつ縄文遺跡」</b></p> <p>市内の主な縄文時代の遺跡を出土品や写真で紹介した。</p>	<p>7月30日～9月25日</p>
	<p><b>「干支展 卯」</b></p> <p>豊橋市自然史博物館との資料相互貸借で毎年開催。その年の干支に関連した資料を紹介した。</p>	<p>令和5年1月28日 ～3月5日</p>
その他の 展示	<p><b>「社会科自由研究優秀作品展」</b></p> <p>市内小中学生の自由研究作品のうち優秀作品を集めて展示。期間中に特別賞を選定し表彰した。</p>	<p>10月1日～11月6日</p>
	<p><b>「立川流の彫刻 力人と獅子」</b></p> <p>市指定文化財秋葉神社神門修理事業の紹介と装飾彫刻のスポット展示とギャラリートークを開催。</p>	<p>9月13日～19日</p>

舞阪郷土資料館	概要	舞阪図書館と併設。指定管理者（NPO 法人ふくろうの森委員会・東海ビル管理(株) 共同事業体）による管理運営。※観覧者数：5,048 人	
	常設展	舞阪町の漁業や近世舞坂宿、町内の遺跡に関する資料等を展示	通年
	企画展	「海と湖の幸」（自主事業） 「新収蔵品展」（巡回） 「鳥瞰図―空から描いた日本の風景―」（自主事業） 「安政地震を伝える」（自主事業） 「古墳へでかけよう！」（巡回） 「家康ゆかりの地パネル展～西・南区編～」（合同） 「潮干狩り」（自主事業）	4月2日～4月24日 4月29日～6月12日 6月25日～8月28日 9月10日～10月30日 11月5日～12月18日 12月24日 ～令和6年1月8日 3月4日～5月28日
姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館	概要	北区細江町気賀に立地。北区役所（まちづくり推進課）が管理運営。江戸時代の産屋「旧山瀬家のコヤ」（市指定有形民俗文化財）を敷地内に移築保存。 ※観覧者数：3,981 人	
	常設展	近世の姫街道や気賀周辺に関する資料、弥生時代の銅鐸、イグサの生産に関する資料等を紹介。	通年
	企画展	「野島青茲展」（独自） 「新収蔵品展」（巡回） 「古墳へでかけよう」（巡回） 「活躍！型紙レスキュー隊」（巡回） ※静岡文化芸術大学共催 「家康ゆかりの地パネル展～北区編～」（合同）	4月29日～6月5日 7月2日～8月21日 9月10日～10月23日 10月28日～11月16日 12月24日 ～令和6年1月8日
市民ミュージアム浜北	概要	浜北文化センター内に設置。指定管理者（浜松市文化振興財団）が管理運営。 ※観覧者数：12,047 人	
	常設展	遠州大念仏や遠州織物に関する資料や、浜北区内及び東区内（一部）出土の考古資料等を紹介。	通年
	企画展	「楽器博物館出張展示 世界のラップたち」（自主事業） 「古墳へでかけよう」（巡回） 「新収蔵品展」（巡回） 「家康ゆかりの地パネル展～東・浜北区編～」（合同）	令和4年3月19日 ～5月24日 7月2日～8月21日 9月10日～11月6日 12月24日 ～令和6年1月8日
俗資料館 春野歴史民	概要	春野図書館と併設。天竜区春野協働センターによる管理運営。 ※観覧者数：1,190 人	
	常設展	春野町域の考古資料や茶業に関する資料、旧王子製紙に関する資料等を紹介。	通年

	企画展	「まちの盛り場」(巡回) 「浜松城」(巡回) 「活躍!型紙レスキュー隊」(巡回) ※静岡文化芸術大学共催 「春野・森林鉄道の歴史」(自主事業) 「家康ゆかりの地パネル展～天竜区編～」(合同)	令和4年2月2日 ～5月8日 7月9日～9月25日 10月1日～10月12日 10月22日～2月5日 2月11日 ～令和6年1月8日
水窪民俗資料館	概要	そば打ち体験施設等と併設。天竜区水窪協働センターによる管理運営。 ※観覧者数：593人	
	常設展	水窪町域の考古資料や西浦の田楽等の民俗、林業等の生業に関する資料等を紹介。	通年
	企画展	「浜松城」(巡回) 「活躍!型紙レスキュー隊」(巡回) ※静岡文化芸術大学共催 「土雛展示」(自主事業)	4月29日～6月26日 9月10日～9月28日 2月25日～3月5日

#### 4 教育普及事業

区分	事業名	概要	参加者数	日程
講座	「はまはく講座」等	展示等に合わせ講演会、講座、見学会、ワークショップ、ギャラリートーク等を開催。	延408人	計27回開催
	ボランティア講座	ボランティアを対象に博物館活動や市内の歴史に関する講座や実習の開催。	延106人	10回開催
	初歩の古文書講座	古文書の解読に関する入門講座	延65人	7回開催
体験学習	はまはくまつり	ミニ銅鏡づくり体験等	3,058人	5月1日～5月5日
	夏休み体験館	勾玉づくり体験等	5,624人	7月30日～8月21日
	冬休み体験館	昔のくらしや遊びの体験・クイズラリー等	1,395人	12月24日～1月5日
	春休み体験館	勾玉づくり体験・見学ツアー等 (965人)	965人	3月18日～3月26日
	その他単発事業	火おこしマスターへの道 縄文のくらしチャレンジ 昔の暮らし体験館 弓矢体験 火おこし体験 まが玉づくり体験	406人 108人 527人 34組 23組 78人	6月26日 9月25日 2月25日～2月26日 10月29日・2月4日 11月19日・3月4日 12月17日

	学校来館	火おこし、アイロン、七輪、勾玉づくり等	7,686人	通年
研修等	博物館実習	学芸員資格取得を目指す大学生の実習	18人	8月1日～8月6日 8月23日～8月28日
	インターンシップ	博物館業務に関心のある大学生を受入れ	2人	9月8日～9月12日
	その他	教員研修 中高生職場体験	20人 24人	随時
イベント	田辺一邑氏講談 「三方ヶ原軍記」	三方ヶ原の戦いにまつわる講談の実演と解説（家康伝承調査事業の一環）	43人	7月23日

## 5 アウトリーチ事業

区分	事業名	件数	概要
学校	学校移動博物館	9校	小学校に出向いて展示や体験事業を開催。 （篠原小、与進北小、芳川小、上阿多古小、豊岡小、可美小、和地小、西気賀小、伊佐見小）
	教材の貸出	94件	展示・体験セットや個別資料の教材として貸出
一般	逸品まちかど陳列事業	1件	三ヶ日図書館で銅鐸レプリカの展示（3月18日～5月7日）とギャラリートーク。
	出前講座	7件 4件	学校・市民団体等からの依頼 協働センター等市の施設からの依頼

## 6 市民協働事業及び外部との連携事業

相手	日程	概要
博物館ボランティア	通年	展示解説、体験学習、講座運営等の補助 ※ボランティア参加者延べ数：356人
おはなしつむぎの会（市民団体）	月1回程度	旧高山家住宅において、語り聞かせ会「かやぶき屋根の下で聞く日本のむかしばなし」を開催。
蛸塚自治会	随時	地元のイベントにおける会場の提供等
中日新聞 NIE 事務局	随時	切抜き作品展と体験教室の開催・関連記事館内設置
静岡県博物館協会	随時	事業推進グループへの職員派遣（企画運営等）

## 7 情報の発信

媒体等	発信数	概要
博物館報 35 号	1 回	事業報告、調査研究成果等の掲載 (3 月刊行 計 500 部)
博物館だより	3 回	149～151 号の発刊。事業の広報を主目的 (A4 判 4 頁) (7 月・11 月・3 月発行 計 2,000 部)
博物館情報	6 回	349～354 号の発刊。資料や調査研究の紹介 (A4 判) (偶数月に発行 計 13,266 部)
催し物案内	2 回	展示や各種事業のイベントカレンダー (A6 判) (9 月・3 月発行 計 19,000 部配布)
ポスター・チラシ	随時	展示・事業の周知のために作成して配布 (ポスター計 1,112 部 チラシ計 42,299 部)
「広報はままつ」	4 回	事業の周知や募集を市の広報誌へ掲載
HP、SNS	随時	HPにて事業内容発信・参加者申込受付・動画配信 (アクセス数 85,522 件) ツイッター・インスタグラムによる発信 (フォロワー数 1,936 人)
広告の掲載	随時	新聞や屋外看板等への広告掲載 (特別展)
報道機関への情報提供	52 件	新聞、TV、ラジオ、情報誌、情報サイト等への情報 提供や取材対応
オンラインでの博物館資料等の画像・情報の公開	随時	収蔵品検索システム「ある蔵」、「浜松市文化遺産デジタルアーカイブ」「文化遺産オンライン」等への登載

## 8 整備事業

事業名	概要
蜷塚遺跡再整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和 3 年度に策定した保存活用計画の刊行。</li> <li>保存活用計画に基づき、整備基本計画を策定した。</li> <li>整備検討会を開催して、有識者の意見を聴取した (2 回)。</li> <li>公募のワークショップや地元自治会の会合出席による意見交換</li> </ul>
博物館リニューアル事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本構想の策定準備を行った (策定は令和 5 年度に延期)。</li> <li>先進地への視察 (栃木県立博物館) を行った。</li> <li>博物館アドバイザー (富田和俊氏) を招聘して、リニューアルの方向性や民間活力の導入等について意見をうかがった。</li> </ul>